

大里吉見開運講

初代講元 新 豊作
 二代講元 新 源治
 三代講元 新 安弘
 四代講元 新 益典



記念碑の隣に立つ新講元

大里吉見開運講は、埼玉県北部の大里郡吉見村（現・熊谷市南部）を拠点として成立し、毎年高尾山へ参拝登山に訪れております。

講の成り立ちについては今となっては知る人も居らず、定かではありません。残念ながら文書などの記録も残っていないようです。ただ、成立初期の頃には吉見開運講と、講元が三人いたやうで、納札堂の隣にある、登山十周年記念の石碑

（左写真）で確認することが出来ます。

私で四代目の講元となりますが、先代が百回記念参拝登山をするものごばかり思っておりました。しかし、九十八回参拝登山の計画中に病に倒れ、帰らぬ人となってしまいました。

しかしながら先代の信仰心は篤く、その加護も大きかったように思います。地方議員を八期三十二年務め、最終的に旭日双光章を頂き、正六位に

叙されました。これも飯縄大権現様のお力添えあつてのことと考えております。

また、私自身も講元を引き継ぎ初めての参拝登山後、良縁に恵まれました。四十三歳でしたが結婚することが出来ました。先代も唯一の心残りがないかなり喜んでいいることと思っております。今回の百回記念参拝登山は妻も一緒に参加させて頂き、飯縄大権現様に御礼方々御報告することが出来ました。

この先も末長く講の皆様と、篤く高尾山信仰を続け、ともに発展して行けるよう精進して参りますので、よろしくお願ひ致します。

参拝百周年を迎えて

大里吉見開運講 講元 新 益典

一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

- 三段 我慢すると自分に力がつく
- 二段 他人を生かす感謝の言葉
- 一段 陰で支えてくれている人を忘れるな

『高尾山健康登山の証』のお勧め

年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから健康登山を始めてから約十五年経ち、いまだは約五万人の方々が会員となられております。期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換もできます。

帳面………七百円
スタンプ…百円



帳面………七百円
スタンプ…百円

高尾山 季節散歩

暦の言葉

「二十四節気」

大雪「たいせつ」

大雪は十二月七日頃に当ります。文字の通りに、雪が更に降り積もるという意味です。

特に日本海側では顕著で雪が激しく降るようになり、一方、太平洋側では、乾燥した冷たい風が吹くようになります。また、霜柱が立ち始める時期になります。

今月の行事

正月こと始め

正月こと始めとは、「すす払い」「お餅つき」等、お正月を迎える準備を始める日となり、十二月十三日に当たります。

準備は二十八日までには、終わらせるようにします。終わらなければ「苦の日」である二十九日と「一夜飾り」となってしまう三十日を避け、三十日に行います。

健康登山者投稿作品

私と健康登山

八王子市 寺嶋 稔

会社人間を辞め、八王子市南大沢健康福祉センターで開催されていた囲碁同好会で囲碁を楽しむようになって数年、このまま囲碁を続けるのも一つの選択肢だが、老い行くこれからの人生を考えると、足腰を鍛えることも考えなければならぬ。いかなと思いついた頃、同じ同好会の仲間だった石橋照久さん（京大山岳部出身・高尾山健康登山百冊を最初に満行された方。）に勧められて、平成十三年六月から、高尾山薬王院が主催する「高尾山健康登山」を始めるようになりまし。

それまでは登山の経験は殆どありませんでしたが、始めてみると山登りの楽しさにはまり、派生的に山岳写真にも興味を持つようになりました。高尾山から裏高尾経由で



相模湖へ出たり、陣馬山へ抜けたり、更に更に夏の富士登山や八ヶ岳縦走なども始めたりと、一向に手帳の数を増やすことが出来ないまま十四年、いつしか馬齢は八十二を数えるに至りましたが、手帳は漸く七十冊。

最近御臨終の前には百冊満行が出来るか、それとも御臨終の方が先にやってくるかの競争みたいなことになっていて、気が付いて、少々焦り気味ではありますが、早い時期に何とか百冊を満行したいなと思つて居るところです。

日本フィギュアスケート強化選手 (続)本郷理華さんからの手紙

最近、朝夕と一際冷え込むようになって参りました。

先日十一月六日〜八日に、中国の北京で行われた先したグランプリシリーズの中国杯ではとても緊張し、ようやく落ち着いてきました。

皆々様のお蔭で、自己ベストを更新して二位という結果を頂き、無事に帰国致しましたこと、心から御礼申し上げます。

また、休む暇なく来週の十七日（火）にロシアへ向けて出発致します。（グランプリシリーズ・ロステレコム杯へ出場のため）また無事に元気に帰国できますようお祈りしております。

本当に沢山、沢山の応援を頂き誠に有難う御座いました。感謝の心で一杯でございます。

（後日、十一月の二十日〜二十二日に、ロシアの首都モスクワで開催されましたロステレコム杯では、健闘の末、五位に入賞されました。）



沢山の声援を受け、笑顔の本郷選手